

## 平成30年度老人保健健康増進等事業

### これからの介護予防のあり方基礎研究

株式会社三菱総合研究所

#### 1. 事業実施目的

厚生労働省「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する有識者会議」において、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施についての議論がなされ、平成30年12月3日に報告書にまとめられている。

本事業においては、通いの場に関する分析を行うとともに、介護予防につながる取組みの促進策や、介護予防と高齢者の保健事業を一体的に行うための方策についての基礎的研究を行った。

#### 2. 事業の概要

##### (1) 検討委員会の設置・開催

学識者・有識者・自治体から構成する会議体を設置し、各市町村における介護予防の取組状況等の把握及びこれからの介護予防のあり方について検討を行った。検討委員会のメンバーは有識者3名、自治体関係者2名、開催回数は1回とした。

##### (2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の事例集の作成

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を先行的に取組んでいる市町村、後期高齢者医療広域連合、都道府県に対するヒアリング調査結果を取りまとめ、事例集を作成した。

##### (3) 介護予防に関する実施状況調査

介護予防の取組みとして、住民主体の通いの場の参加状況と、要介護度等の関連について試行的に分析を行った。

##### (4) これからの介護予防に関するあり方の検討

検討委員会における議論等を踏まえたうえで、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を想定した、これからの介護予防に関するあり方について検討・整理した。

##### (5) 調査報告書の作成

調査結果を踏まえて、調査報告書を作成した。

#### 3. 事業結果の概要

##### ● 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の事例集

市町村（12市町村）、後期高齢者医療広域連合（2広域連合）、都道府県（2県）の事例を「介護予防と高齢者の保健事業の一体的実施に関する事例集」として取りまとめた。事例集に取りまとめた内容は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する有識者会議報告書」におけるイメージ図に記載のある①～⑪の取組みで分類し、事例をマトリクスで表示するなど、読者が事例を探しやすく、読みやすくなる配慮をした。

##### ● 介護予防に関する実施状況調査

平成25年度から平成28年度で調整済み認定率が増えている市町村では、他市町村と比較して、通いの場の参加者率が増えていない自治体が多い結果がみられた。

この結果から、通いの場をはじめとした、地域における介護予防への取組みが地域の要介護認定率に関係している可能性が考えられる。

以上